

# 5本の柱でまちづくり

平成21年度も第4次総合計画の基本理念である「共に生き共につくり 牧場の朝のまち 鏡石」の実現に向け、「快適空間づくり」、「元気づくり」、「活力づくり」、「人づくり」、「地域づくり」の5つの柱を軸にまちづくりを進めていきます。

**快適空間づくり**  
 3億8,748万円

また、今年度から乳幼児・児童医療費の無料化を小学校6年生までの引き上げ、妊婦検診の14回までの公費負担拡充や人間ドック対象者を65歳まで拡大することになりました。

**元気づくり**  
 20億8,576万円

保健福祉を充実させるため、介護保険事業、障がい者福祉事業や後期高齢者医療事業などを実施します。

**活力づくり**  
 1億5,847万円

産業の振興・地域整備を目的に、今年度も農業振興事業や成田ほ場整備事業、農道や排水路改修事業などを実施します。

**地域づくり**  
 3,821万円

町民総参加のまちづくりを推進するため、地域振興イベントの開催、フローラ（花の女神）のまちづくり事業などを引き続き実施します。

**人づくり**  
 3,986万円

教育・文化の向上として、義務教育振興事業、幼児教育の充実や生涯学習の推進などを実施します。

新規事業として、指導主事を設置することによる学校支援、本格的に活動を開始した「かがみいしスपोर्टスクラブ」の活動支援を実施してまいります。

**地域づくり**  
 3,821万円

町の情報を皆さんと共有化するため、広報かがみいしの発行やホームページなどの充実を目指してまいります。

平成21年度鏡石町各会計当初予算総括表 単位:千円

事業名	事業費
快適空間づくり = 都市機能の整備	
地方道路整備臨時交付金事業	80,500
町道整備単独事業	5,000
生活関連道路改修事業	10,966
土地区画整理事業	62,325
公共下水道事業	80,600
石綿セメント管更新事業	21,021
上水道第5次拡張事業	33,600
環境美化推進事業	1,814
ごみ処理事業	79,030
元気づくり = 保健福祉の充実	
介護保険事業	590,377
健康づくり事業	42,608
高齢者福祉事業	138,705
児童福祉事業	365,745
障がい者福祉事業	92,051
地域生活支援事業	9,700
後期高齢者医療事業	199,870
乳幼児・児童医療費助成事業	58,200
活力づくり = 産業の振興・地域整備	
農業振興事業	12,465
ほ場整備推進事業	50,000
基盤整備促進事業	26,000
農道及び排水路改修事業	5,000
企業誘致推進事業	52,004
商工観光推進事業	13,000
人づくり = 教育・文化の向上	
教育指導事業	2,160
義務教育振興事業	17,345
幼児教育の充実	4,615
生涯学習の推進	15,735
地域づくり = 町民総参加	
地域安全活動事業	2,658
行財政改革推進事業	8,803
情報政策事業	15,972
自治体個性化推進事業	5,350
広報広聴事業	5,422

## 環境グループを新設

行政組織の見直し  
 町は行財政改革大綱に基づき、行政組織の在り方の検討、厳しい財政状況の中、経費を削減するための様々な施策を実践しています。行政組織の見直しを図り、平成16年4月からグループ制を敷き、各課長の補佐役の名称を課長補佐からグループ長に変更しました。分かりやすく、より効果的な行政サービスを進めるため、今年4月からグループを副課長に変更するよう規則などを改正しました。また、チェック機能の強化を図るため、副課長の下に任意で副主幹を設置することになりました。環境対策を強化するため、健康福祉課に新たに環境グループを新設します。環境グループでは、ごみ処理対策、地球温暖化防止対策や狂犬病の予防などを担当します。

## 町職員人事異動

□敬称略（ ）内は旧所属  
 □旧所属と新所属が同じ場合は（ ）内の課名を省略

### □退職 3月31日付

角田 勝	(税務町民課参事課長)
椎野 優偉	(都市建設課参事課長)
八巻トシ子	(成田幼稚園長)
田代 静枝	(出納室主任主査)
橋本 陽男	(鏡石保育所主任調理員)

### □異動・昇格 4月1日付

課長及び相当職		
税務町民課長	高原 芳昭	(総括主幹兼町民グループ長)
都市建設課長	圓谷 信行	(上下水道課兼排水下水道グループ長)
図書館長	飛沢 栄四郎	(総括主幹)
都市建設課総括主幹兼副課長(都市担当)	吉田 賢司	(総括主幹兼都市計画グループ長)
総務課総括主幹兼副課長(総務担当)	関根 邦夫	(主幹兼総務グループ長)
総務課主幹兼副課長(企画財政担当)	小貫 秀明	(主幹兼企画財政グループ長)
産業課主幹兼副課長(振興担当)	柳沼 英夫	(主幹兼振興グループ長)
健康福祉課主幹兼副課長(環境担当)	車田 光男	(主幹兼健康グループ長)
健康福祉課主幹兼副課長(福祉担当)	小貫 正信	(主幹兼福祉グループ長)
上下水道課主幹兼副課長(上水道担当)	長谷川 清一	(主幹兼上水道グループ長)
教育課主幹兼副課長(教育担当)	角田 信洋	(主幹兼生涯学習グループ長)
教育課主幹兼副課長(生涯学習担当)	角田 信洋	(主幹兼生涯学習グループ長)
鏡石保育所副所長	梶田 和子	(主任保育士)

### 副課長及び相当職

税務町民課副課長(町民担当)	矢部 雅春	(税務グループ長)
税務町民課副課長(税務担当)	吉田 竹雄	(主任主査)
税務町民課主任主査	大河原 正義	(総務課主任主査)
産業課副課長(農政担当)	菊地 勝弘	(主任主査)
上下水道課副課長(下水道担当)	根本 博	(産業課農政グループ長)
都市建設課副課長(事業担当)	倉田 知典	(税務町民課主任主査)
健康福祉課副課長(健康担当)	橋本 喜宏	(主任主査)
健康福祉課副主幹	柳沼 和吉	(都市建設課事業グループ長)
教育課副主幹	岡部 フミ子	(主任主査)
教育課副主幹	円谷 康誠	(主任主査)

### 係員

総務課主査	根本 大志	(健康福祉課主査)
総務課主任技能員	遠藤 喜久子	(鏡石中学校主任調理員)
税務町民課副主査	角田 智晴	(健康福祉課副主査)
税務町民課主事	角田 祐樹	(健康福祉課主事)
健康福祉課主査	緑川 憲一	(税務町民課主査)
健康福祉課主査	影山 義記	(総務課主査)
健康福祉課主事	折笠 友基	(税務町民課主事)
上下水道課副主査	保田 広隆	(都市建設課副主査)
産業課主事	星 雄之	(上下水道課主事)
都市建設課主査	関根 達也	(上下水道課主査)
出納室主査	佐久間 淳子	(総務課主査)
教育課副主任技能員	藤島 礼子	(鏡石中学校副主任調理員)
鏡石幼稚園副主任教諭	根本 奈津美	(成田幼稚園副主任教諭)
図書館主任技能員	吉田 節子	(鏡石幼稚園主任調理員)
鏡石保育所主任調理員	根本 彰子	(鏡石中学校主任調理員)

### 新採用

税務町民課主事	常松 康司
上下水道課主事	井口 朋洋
健康福祉課保健師	岩崎 ひとみ
健康福祉課保健師	富樫 ゆかり

平成21年度鏡石町各会計当初予算総括表

会計区分	本年度	前年度	比較	
一般会計	39億4,000万円	38億8,000万円	6,000万円	
国民健康保険特別会計	12億700万円	12億3,300万円	-2,600万円	
老人保健特別会計	5,510万円	1億3,700万円	-8,190万円	
後期高齢者医療特別会計	9,370万円	8,925万円	445万円	
介護保険特別会計	5億9,045万円	5億8,750万円	295万円	
土地取得事業特別会計	303万円	303万円	0円	
工業団地事業特別会計	7,543万円	5,439万円	2,104万円	
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	8,480万円	6,480万円	2,000万円	
公共下水道事業特別会計	5億9,960万円	4億3,270万円	1億6,690万円	
農業集落排水事業特別会計	6,300万円	6,300万円	0円	
育英資金貸付費特別会計	1,052万円	1,129万円	-77万円	
小計	67億2,263万円	65億5,596万円	1億6,667万円	
上水道事業会計	収益的	2億2,571万円	2億2,629万円	-58万円
	資本的	1億6,507万円	1億1,800万円	4,707万円
	計	3億9,078万円	3億4,429万円	4,649万円
合計	71億1,341万円	69億25万円	2億1,316万円	

## 総予算額 71億1,341万円

各会計の当初予算を見ると、昨年度より2億1,316万円増の総額71億1,341万円となり、効率的で効果的な行財政運営を実施します。

鏡石町の会計には国民健康保険特別会計や介護保険特別会計など10の特別会計、1つの企業会計があります。特別会計は、特定の事業について一般会計とは切り離し、独立した経理で行う予算です。企業会計は、地方公営企業法の適用を受けるもので、上水道事業会計となります。